

伯耆町総合教育会議 会議録(この会議録は発言を要約したものである。)

召集年月日	令和4年10月31日(月)		
召集場所	伯耆町役場 本庁舎 応接室		
開会時間	午後3時30分		
出席者	町長：森安 保 副町長：阿部 泰 教育長：箕浦昭彦 教育委員：大木寿之、羽田成夫、松岡和代、濱田真代		
事務局等出席職員	総務課：岡本課長、本庄室長 教育委員会事務局：若林次長、金口参事、岡参事	会議録作成職員	総務課室長 本庄直哉
提出議案等	1 開会 2 議題 (1) 各種学力調査結果の状況について (2) 中学校運動部活動の地域移行について 3 その他 4 閉会		
閉会時間	午後4時13分		

会議の顛末

岡本課長	<b>【開会】</b> 伯耆町総合教育会議を開会します。 議題(1)について、教育委員会から説明をお願いします。
若林次長	<b>【議題(1)説明】</b> 「各種学力調査結果の状況」について、資料に基づき説明。
若林次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の学力の状況は、「全国学力・学習状況調査」結果で、小学校6年生・中学3年生ともに概ね全国平均・県平均より高く良好であった。</li> <li>・小学校6年生の算数で県平均を0.6下回ったが、これは問題数も15問程度しかないため、誤差の範囲ととらえている。</li> <li>・生活の状況は、仲間と関わり合い自分の考えを深めることができていると感じている児童生徒がかなり多い。また、地域行事に参加するなど、地域と関わりを持つ児童生徒が多い。町内全学校がコミュニティー・スクール</li> </ul>

	<p>を設置している成果だと考える。今後も、ふるさとキャリア教育を中心に据え、地域に主体的にかかわる活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の状況での課題は、家庭学習の時間であり、経年的な課題となっているが、小中学校とも必要な量の課題を課し、読書習慣についても全国平均を上回っていることから、時間数は少なくとも、家庭学習習慣の基盤は整っている。その成果は学力に表れていると考えている。</li> <li>・携帯・スマートフォン・ゲーム等、家族での時間の使い方に課題がある。全国平均よりはよいものの、平日1時間以上ゲーム等に費やしている児童生徒が約7割と多い。今後の課題としてとらえていきたい。</li> <li>・全学年を対象としている標準学力調査結果では、小学校では、ほとんどの教科で、中学校では、全教科全学年で全国平均を上回っており、良好な状況である。小学校から中学校3年生にかけて全国平均を上回る比率が高くなっており、小中一貫教育の成果が表れている。</li> </ul>
羽田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査結果の28番「地域の大人に、授業やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることはありますか」という設問があるが、15.9%となっており、実際よりも低く感じる。ゲストティーチャーは含まれていないのか。</li> </ul>
岡参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーは多岐にわたってお世話になっており、児童生徒に地元の方という認識がなかったかもしれない。</li> </ul>
森安町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校とも「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立っている」という回答率が高い。使っていくことが大切だと思う。</li> </ul>
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナでお休みもあったが、クロムブックを届けていただき、家庭でもスムーズにリモート学習ができていた。先生方も手慣れた感じで、スムーズに利用することができた。安心してお休みできたし、教室の空気も感じることもきたようだ。整備していただいたことに感謝している。</li> </ul>
大木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく利用できているのに、アンケートを見るとPC、タブレットの使用頻度が低く回答されている。クロムブックが異なるものだという認識があるようだ。同じものだという認識が必要かもしれない。</li> </ul>
若林次長	<p><b>【議題（2）説明】</b></p> <p>「中学校運動部活動の地域移行」について、資料に基づき説明。</p>
若林次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過について、国が令和5年度から令和7年度末までの3年間をめどに、休日の運動部活動から段階的に地域移行するよう提言している。</li> <li>・もともとは中学校教師の働き方改革からスタートしたもののだが、提言の中</li> </ul>

	<p>では、少子化の中でも子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保することを目指すとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県としては、現時点において国が提言のみであり、具体的な方針を示していないことから、令和5年度の地域移行は進めない方針。</li> <li>・部活動の加入については、強制加入としない方向で今後進んでいくことになる。伯耆町は現在、全生徒が部活に加入している状況であり、それにより団体スポーツは成り立っていた面もある。スポーツの機会を確保すると言っておきながら、逆に機会を失う結果になるのではと危惧している。</li> <li>・今後、県が意向調査を進められる予定。それをもって伯耆町でも検討を進めていく予定。</li> <li>・令和5年度に準備段階として伯耆町部活動検討協議会（仮称）を立ち上げて検討を始める。</li> </ul>
森安町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革が発端でもあるので、先生方がどう考えられているのかが大事ではないか。</li> </ul>
箕浦教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その調査をやらなければと考えている。</li> </ul>
森安町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村内でこの問題を完結することは難しいと感じる。</li> </ul>
羽田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活が強制加入でなくなると、様々な生徒指導の問題が出てくるのではと危惧する。</li> </ul>
箕浦教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動は生徒指導の面でもすごくプラスがあると感じていた。</li> </ul>
阿部副町長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の総体なども開催の形が変わってくるということか。なくなる可能性もあるのか。</li> </ul>
箕浦教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いままで学校の先生がやってきたことを民間でできるのか疑問。</li> </ul>

松岡委員	・部活動に強制でも入らなければいけない状況だと、そのことで熱中するものを見つけるチャンスになっているかもしれない。その可能性がなくなるは怖い気持ちがある。
箕浦教育長	・協議会を作って、周りの状況も確認しながら慎重に進めていく。
岡本課長	(そのほかに意見等が無いことを確認した。) 以上で閉会します。